

ごあいさつ

アート（AART）研究会 会長 西原 克成
日本免疫病治療研究会

秋冷の候、皆様におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。

本学会総会は 2001 年の春に西原研究所の開設とともに はじめてはや 15 年目を迎えました。

さて、今日の科学を振り返って見れば、最先端とされる医学と生命科学と量子物理学には驚くほどの盲点と見落としがあります。西原研究所では、最もすぐれた量子物理学者のファインマンですら扱うことが出来ないとされた重力エネルギー（ニュートンの万有引力）を森羅万象の中心に据えて進化のしくみと難治性の疾病発症の原因究明を総合的に、かつ抜本的に行うという遠大な目標を掲げて発足しました。

これは現代の細分化されたサイエンスの業界では、世界に類例のない唯一の総合的研究です。脊椎動物の進化のしくみの謎と超多細胞から成る哺乳動物の体のしくみの謎、難治疾患の謎と進化学を究明する西原研究所の研究テーマは現在以下の三本柱から成り立っております。

I.油壺おもしろ話 ①油壺まほろばセミナー ②重力エネルギー^{バイオメカニクス}を導入した脊椎動物の進化のしくみの謎の究明

II.現代医学の盲点の克服による三大難治性疾患（免疫病・悪性腫瘍・精神病）の謎の究明と治療法の樹立について、

III.重力エネルギー^{バイオメカニクス}の導入による「顔と口腔の医学」の創始 ー新しい歯・顎・口腔・顔の治療法および人工歯根療法^{バイオメカニクス}の完成

発足以来 15 年間うまずたゆまず三本柱の研究と臨床研究を頑張っ てまいりました。三大難治性疾患の究明も一応完了しましたので昨年（2014 年）の始めには、これら の実際症例をまとめて「患者革命」を出版しました。

人工歯根療法もフレーム法を採用して漸く本格的に完成致しました。

総会のはじめにイントロダクションとしてこの三本柱がいつ頃どの ようにして発想され具体化されたのか歴史を述べるとともに三本柱を各パートに分けてその成果を解りやすくお示しします。

2015 年（平成 27 年）9 月